

2021年度春学期 遠隔授業に関する教員向けアンケート (ダイジェスト版)

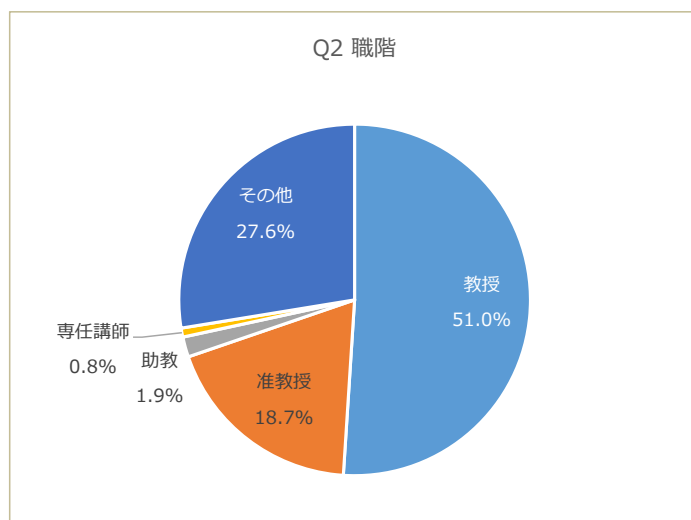
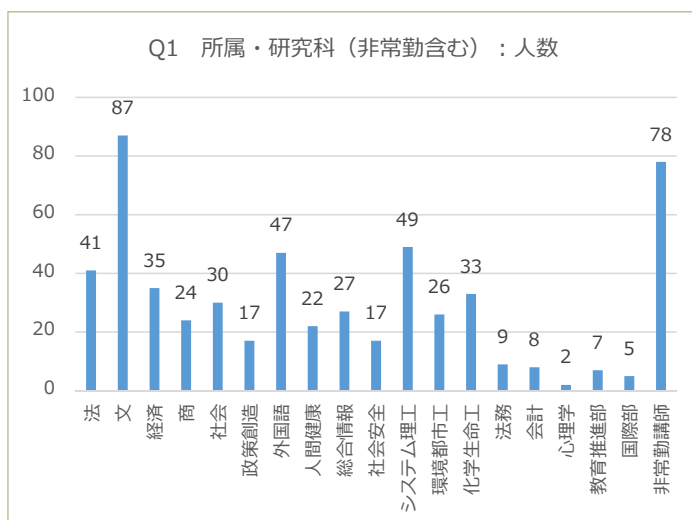
教学IRプロジェクト

2021年11月

調査の概要

2

- 1 調査期間 : 2021年10月1日(金)～10月22日(金)
- 2 調査対象 : 関西大学の専任教員および非常勤講師(2,332人)
- 3 調査方法 : インターネットを活用したアンケート調査(無記名)
- 4 有効回答 : 564件(専任教員回答率60.4%、非常勤講師回答率5.1%)
- 5 回答属性 :



I 担当者の科目属性や授業種別など

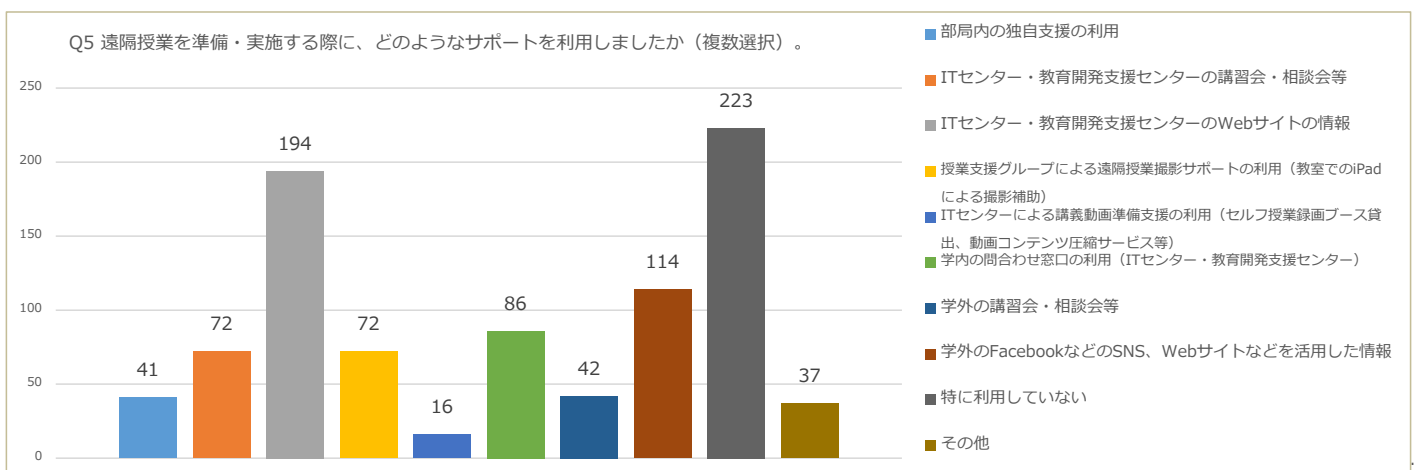
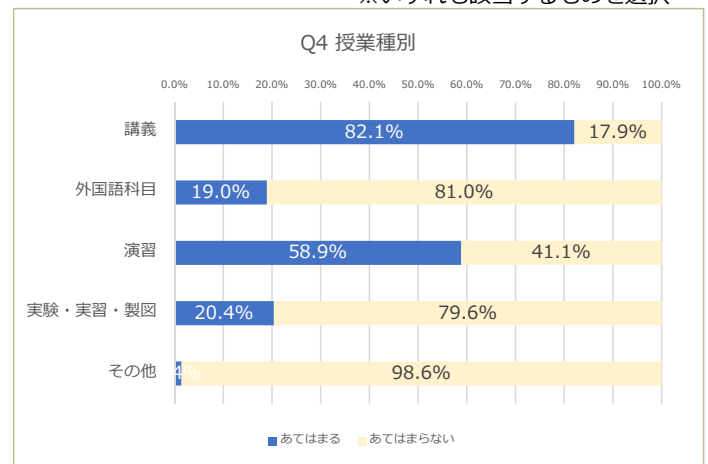
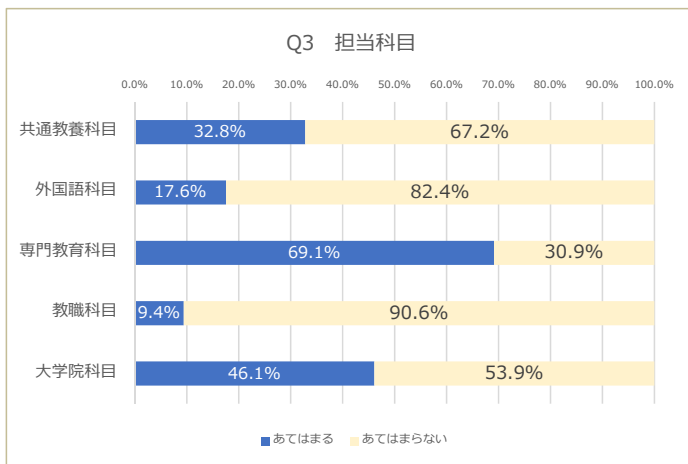


KANSAI UNIVERSITY

Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

I 担当者の科目属性や授業種別など

※いずれも該当するものを選択



Ⅱ コロナ禍以降の担当科目数



KANSAI UNIVERSITY

Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

Ⅱ コロナ禍以降の担当科目数

【各学期の授業実施形態】

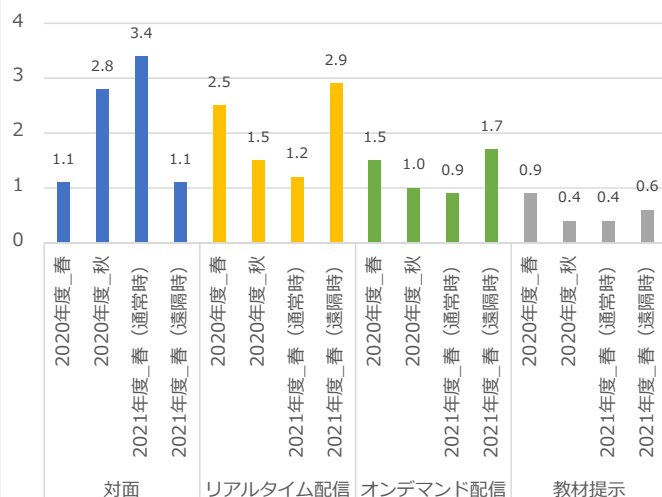
2020年春：原則、遠隔授業を実施

2020年秋：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施

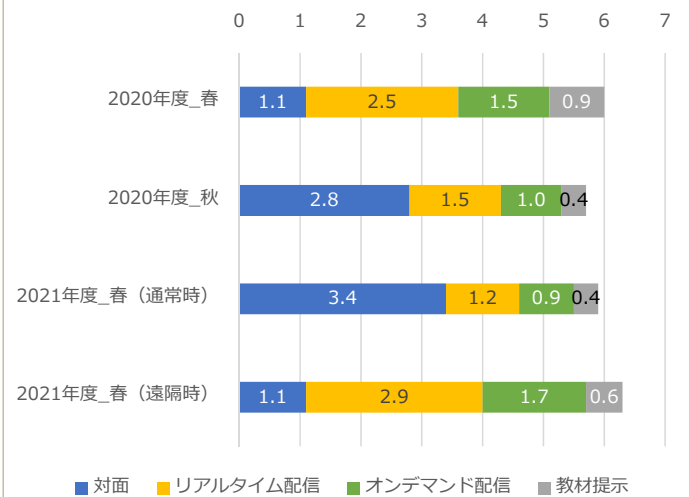
2021年春：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施

対面授業は学期途中において、対面授業 → 緊急的な遠隔授業
→対面授業となった

授業形態別：一人当たりの担当科目数（平均）



学期別：一人当たりの科目担当科目数（平均）



Ⅲ 授業について

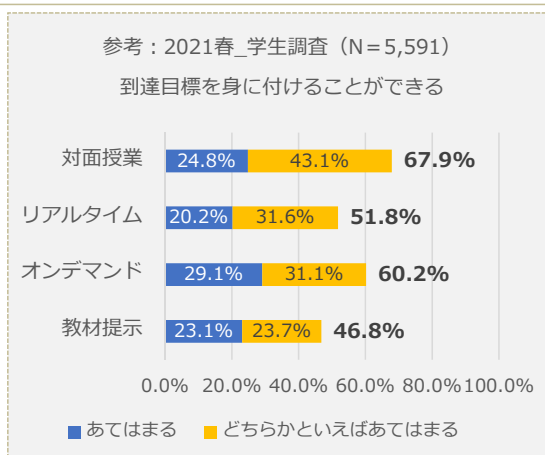
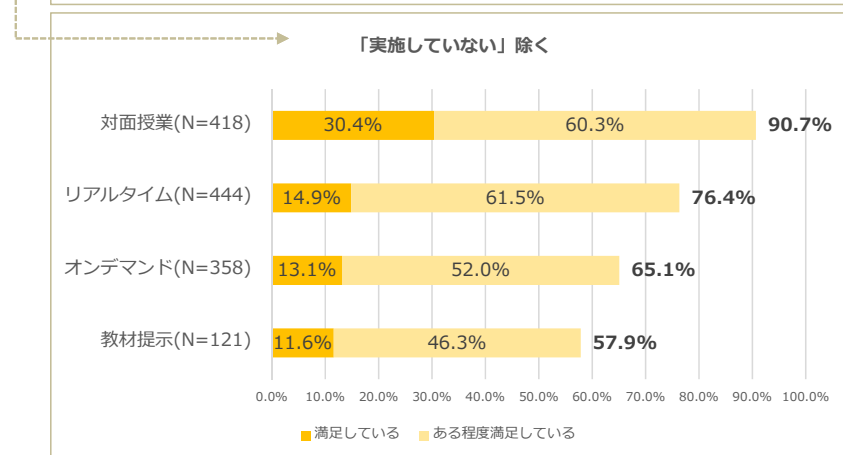
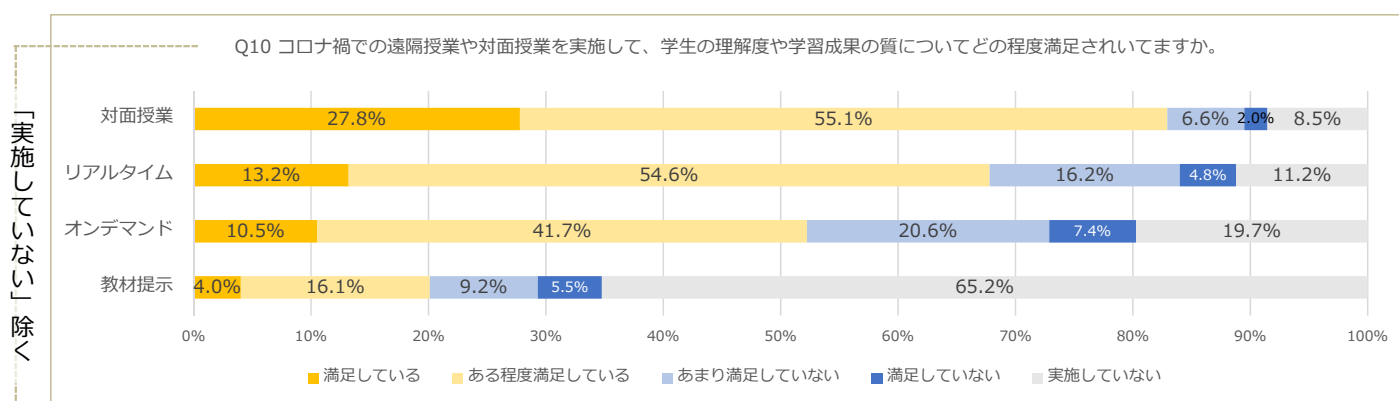


KANSAI UNIVERSITY

Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

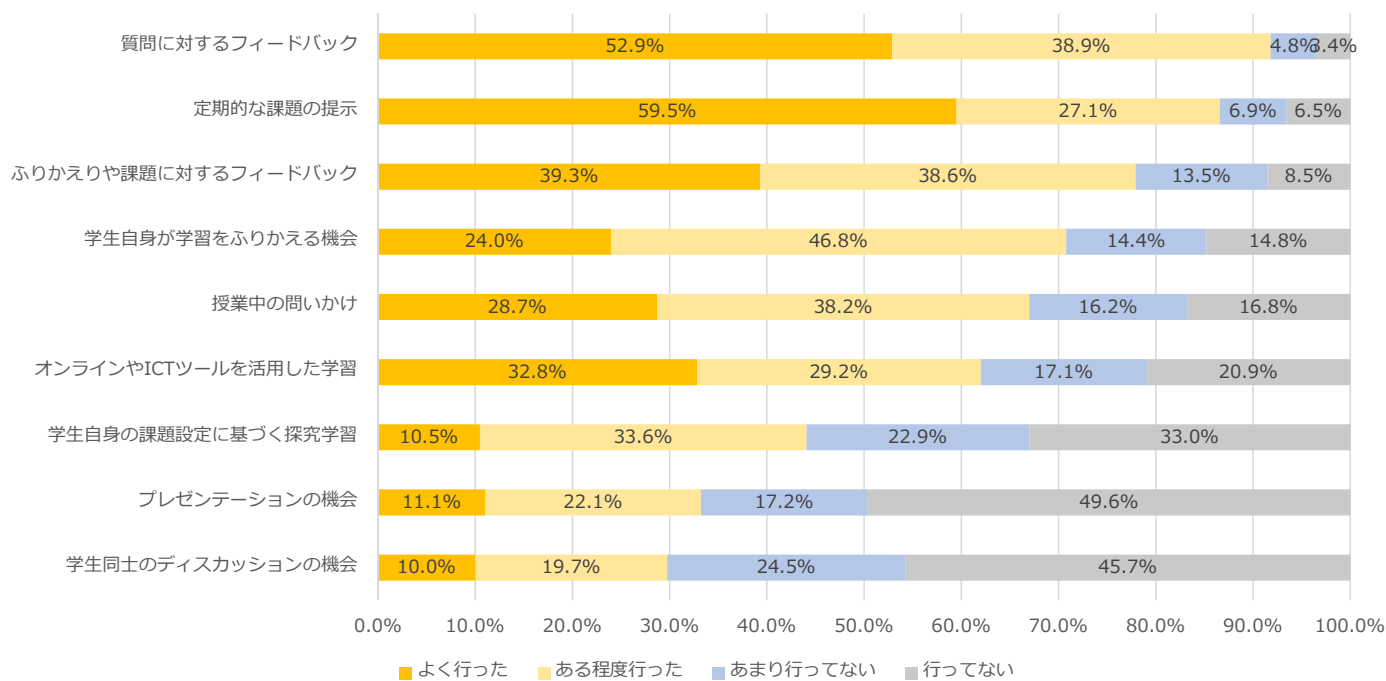
コロナ禍：学生の理解度や学習成果の質に対する満足度 8

- 授業形態別の学生の理解度・学習成果に対する満足度は、
対面授業>リアルタイム>オンデマンド>教材提示の順となった



- 「よく行った」 + 「ある程度よく行った」順にソート
- 講義系科目では「質問に対するフィードバック」「課題の提示」「ふりかえりや課題に対するフィードバック」の順となった

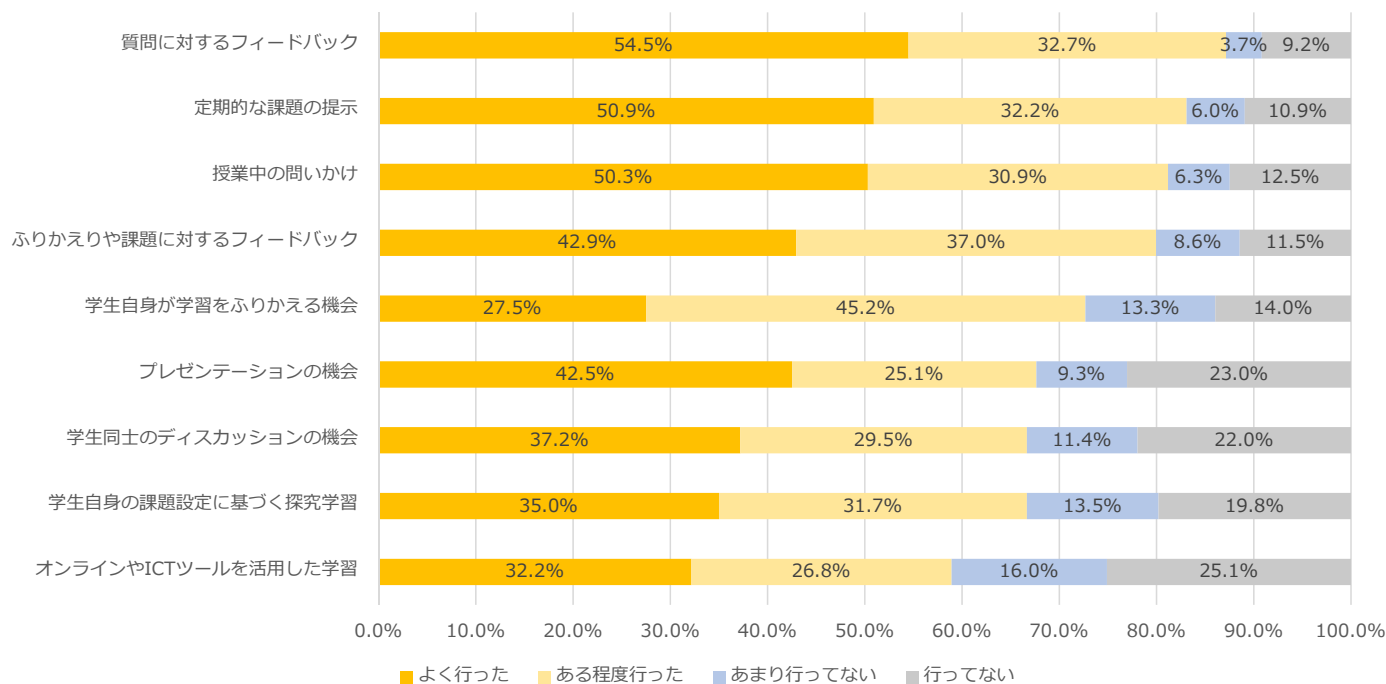
Q11 コロナ禍で担当された講義科目において、以下に挙げる項目をどの程度実施されましたか。



講義系科目以外における授業の工夫

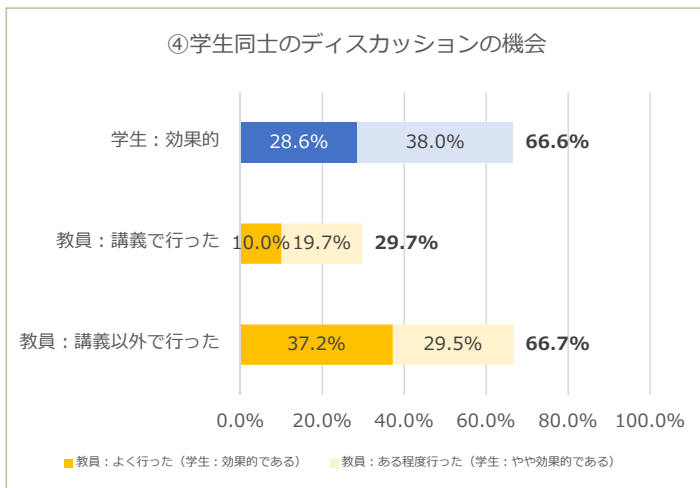
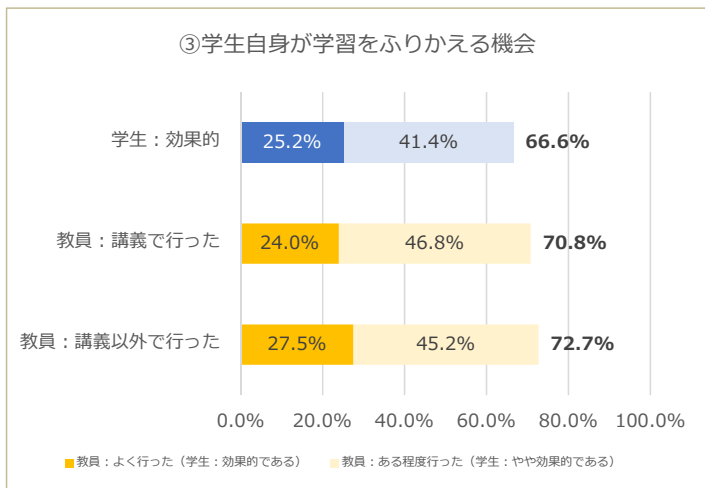
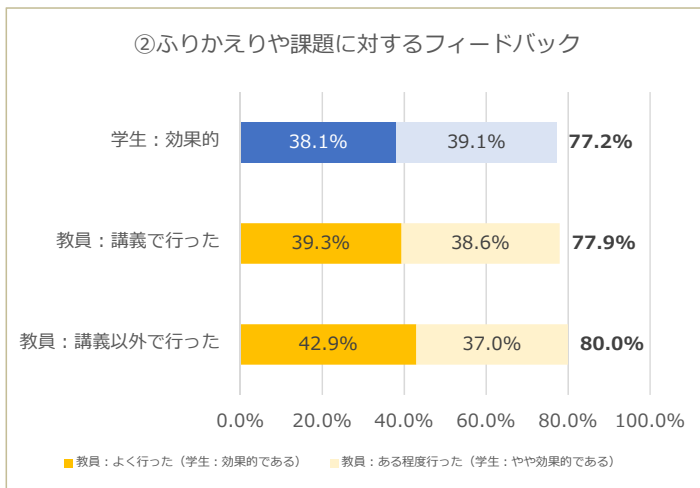
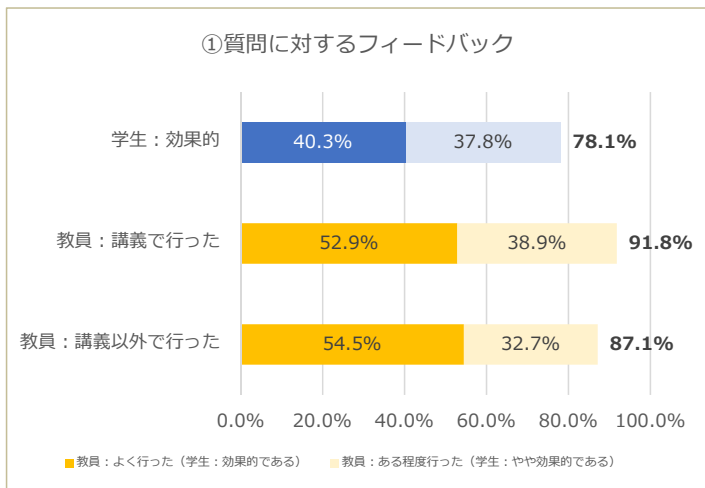
- 「よく行った」 + 「ある程度よく行った」順にソート
- 講義系科目以外では「質問に対するフィードバック」「課題の提示」「授業中の問いかけ」の順となった

Q12 コロナ禍で担当された科目（講義科目以外の科目）において、以下に挙げる項目をどの程度実施されましたか。



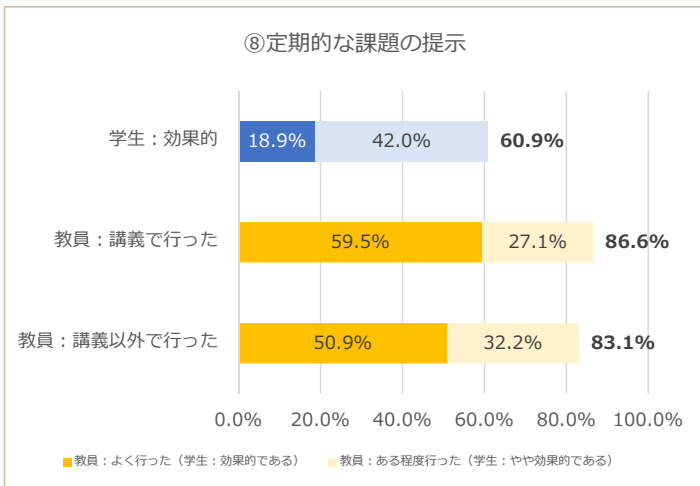
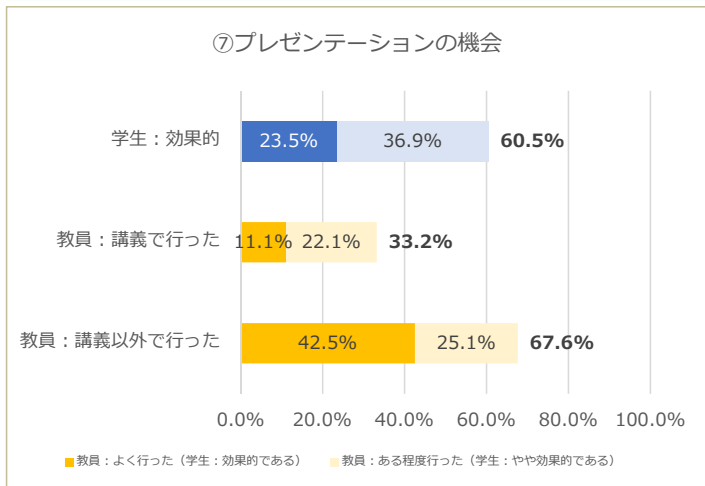
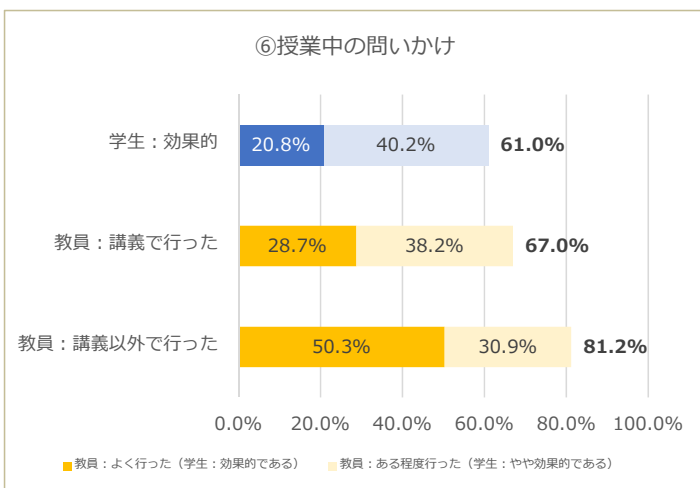
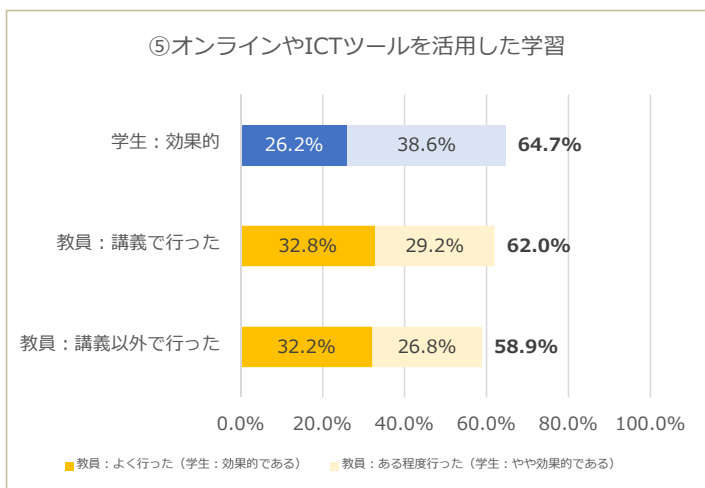
参考：2021年春学期学生調査 (N=5,591, 回答率20.2%) の結果との比較

※2021春学期学生調査では、それぞれの項目について学習効果を高める上でどの程度効果的か、という質問をしており、その回答結果との比較。



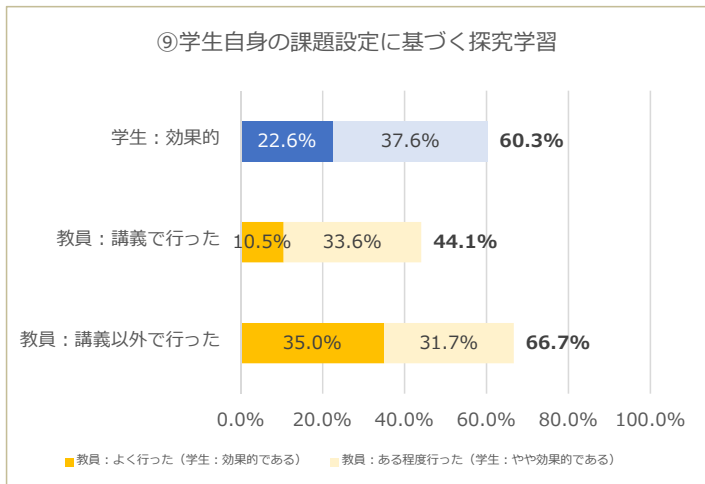
参考：2021年春学期学生調査 (N=5,591, 回答率20.2%) の結果との比較

※2021春学期学生調査では、それぞれの項目について学習効果を高める上でどの程度効果的か、という質問をしており、その回答結果との比較。



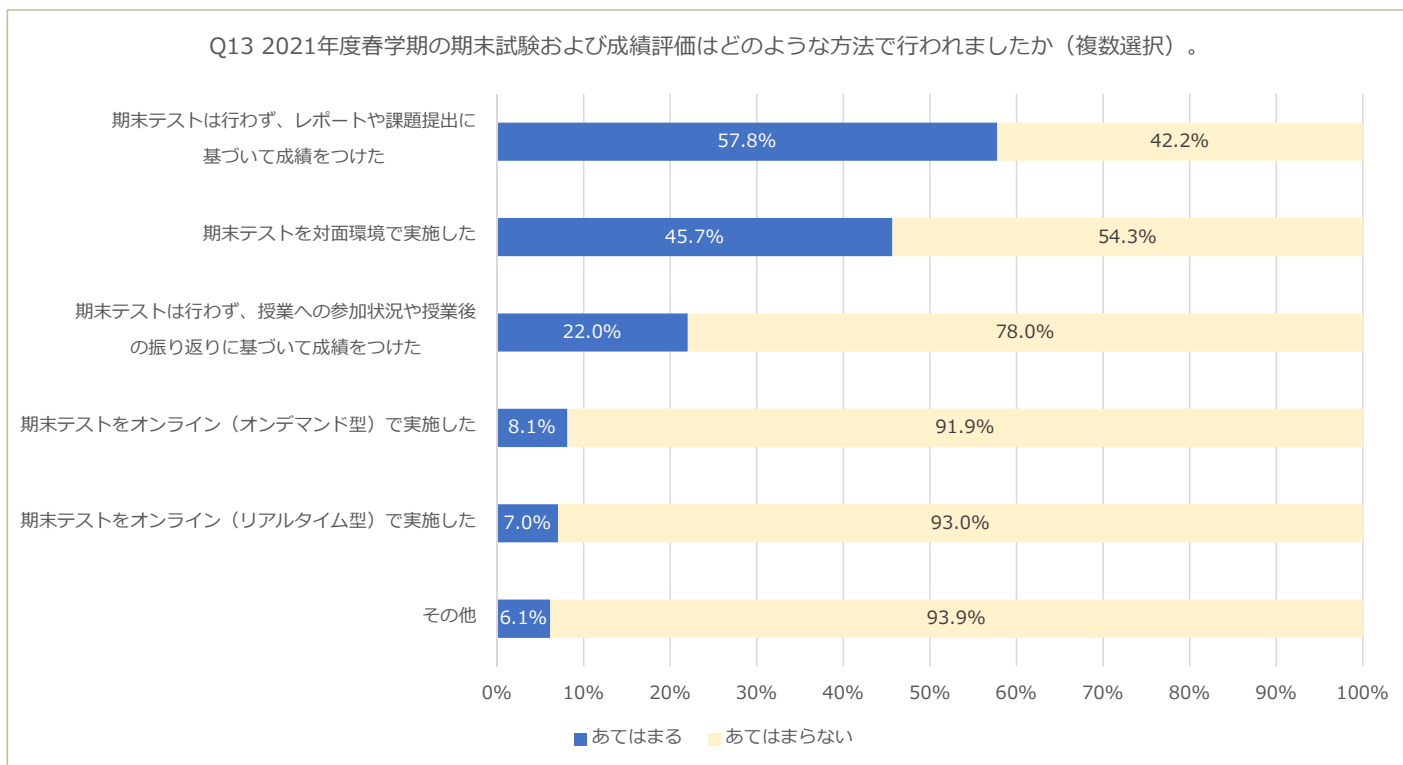
参考：2021年春学期学生調査 (N=5,591, 回答率20.2%) の結果との比較

※2021春学期学生調査では、それぞれの項目について学習効果をも高める上でどの程度効果的か、という質問をしており、その回答結果との比較。

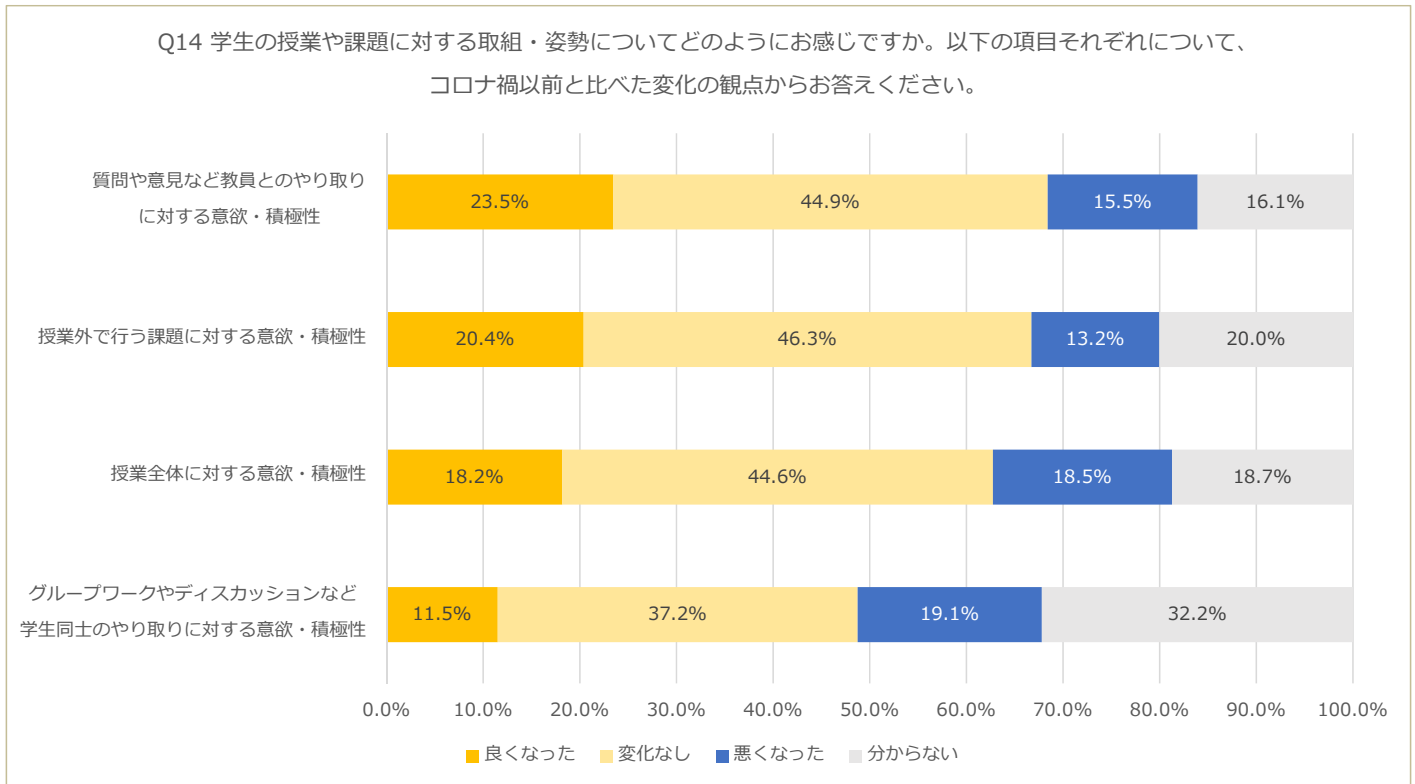


2021年度春学期における成績評価方法

- 「あてはまる」順にソート
- オンラインによる試験の実施は少なく、「レポートや課題提出（試験せず）」もしくは対面による試験実施」に基づく成績評価が多かった。



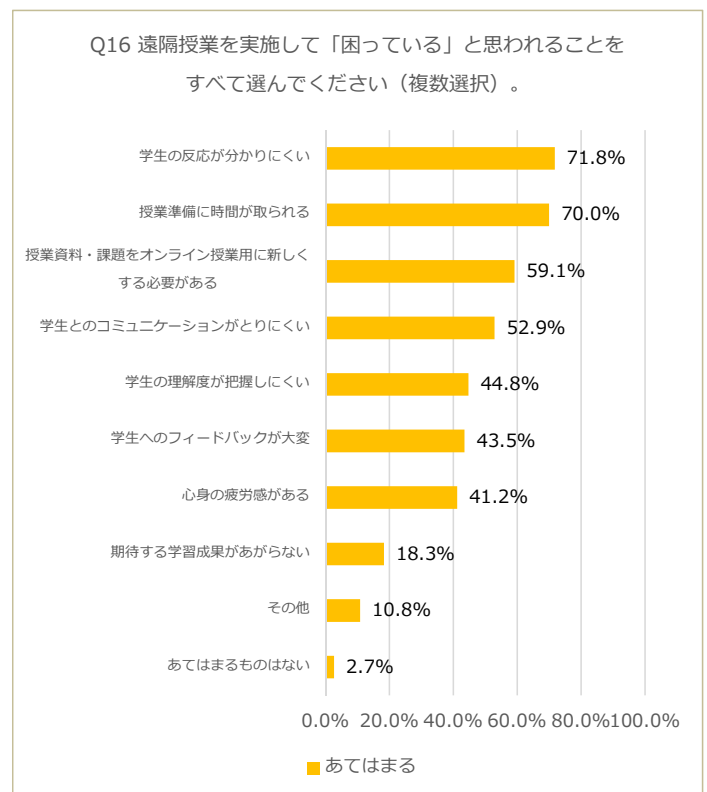
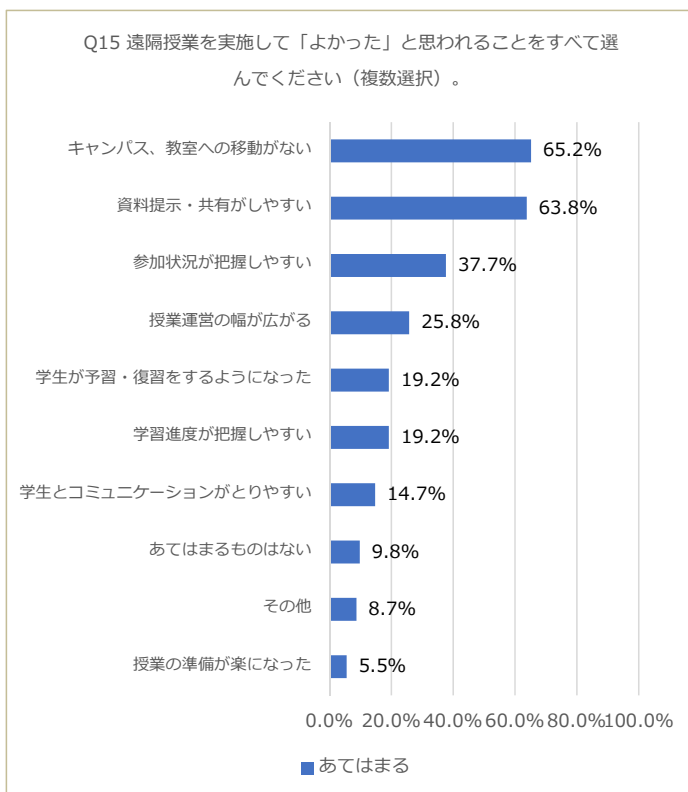
- 「良くなった」の順にソート
- 「教員とのやり取りに対する意欲・積極性」の割合が高くなり、一方で「学生同士のやり取りに対する意欲・積極性」の割合が低くなった。



Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

遠隔授業を実施して「よかったこと」「困っていること」

- 「あてはまる」の順にソート、「あてはまらない」は非表示
- 「よかったこと」は「移動」「資料共有」の割合が高くなり、「困っていること」は多くの項目がまんべんなく選ばれた。



IV 今後について



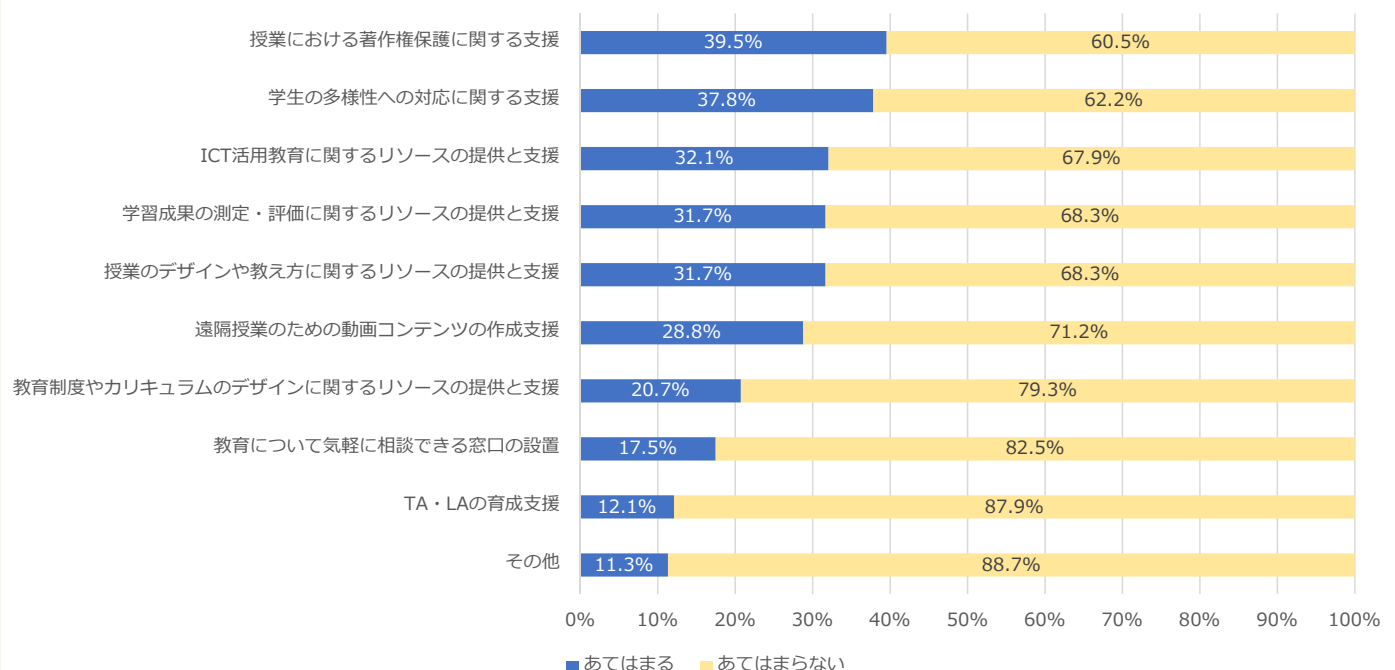
KANSAI UNIVERSITY

Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

教育開発・改善のための支援に関する希望について 18

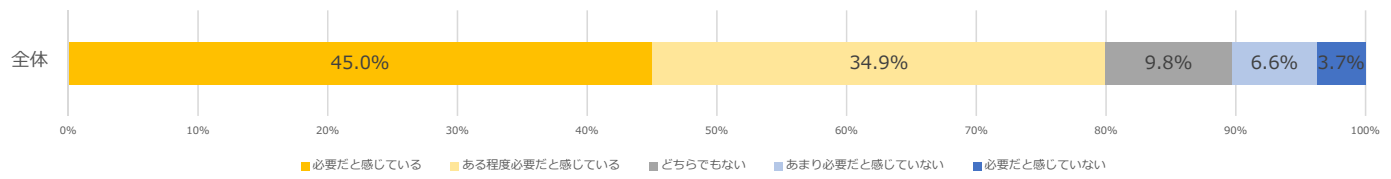
- 「あてはまる」の順にソート
- 「著作権保護」「学生の多様性」「ICT活用教育」「学習成果の測定・評価」の順に選ばれた。

Q17 遠隔授業を含む教育開発・改善のための支援についてどのようなご希望をお持ちですか。（複数選択）

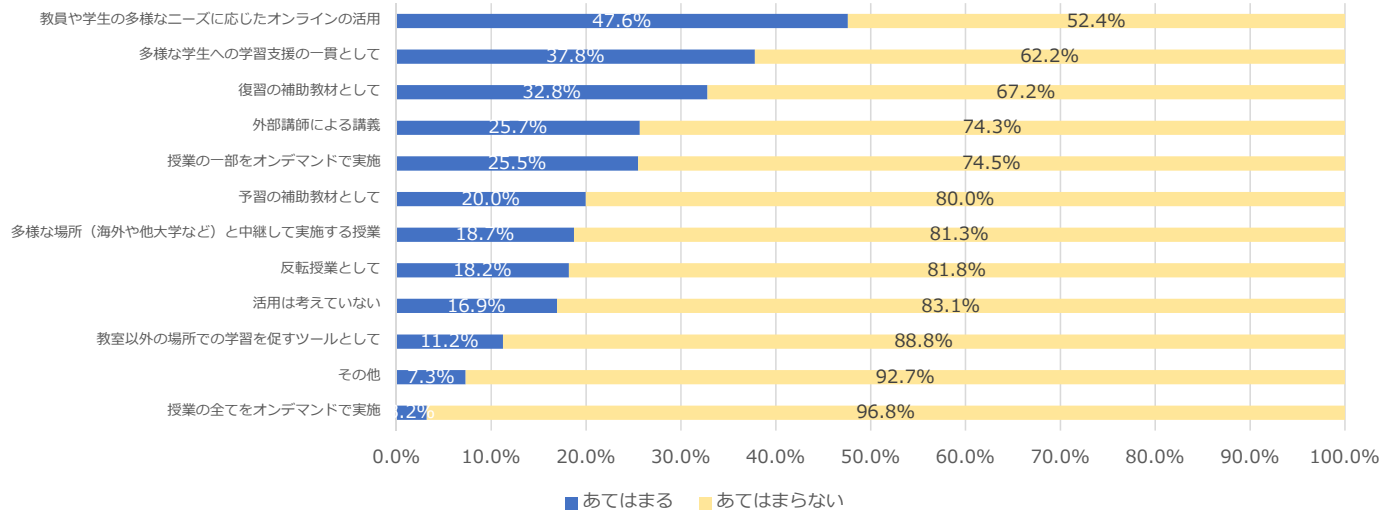


Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.

Q18 今後、大学等の高等教育において対面授業の良さと遠隔授業の良さを組み合わせた授業を展開していくことについて、一般論としてどの程度必要だと感じていますか。



Q19 コロナ後のご自身の担当する授業やその他の教育・学習場面において、オンデマンドやオンライン（Zoom等のリアルタイム）を活用する予定はございますか。あてはまるものをすべて選んでください（複数選択）。



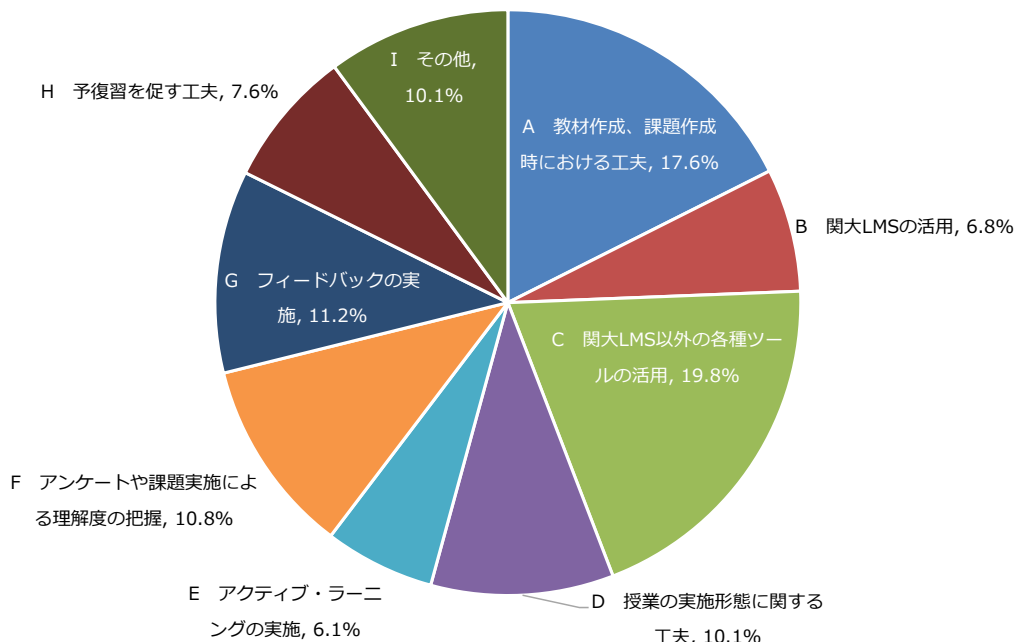
V 自由記述について

- “Q20 コロナ禍での授業において、教育・学習の質を高めるための実践や工夫として良かったと思われることがあればお書きください。”
- 以下の9つに大分類



1.

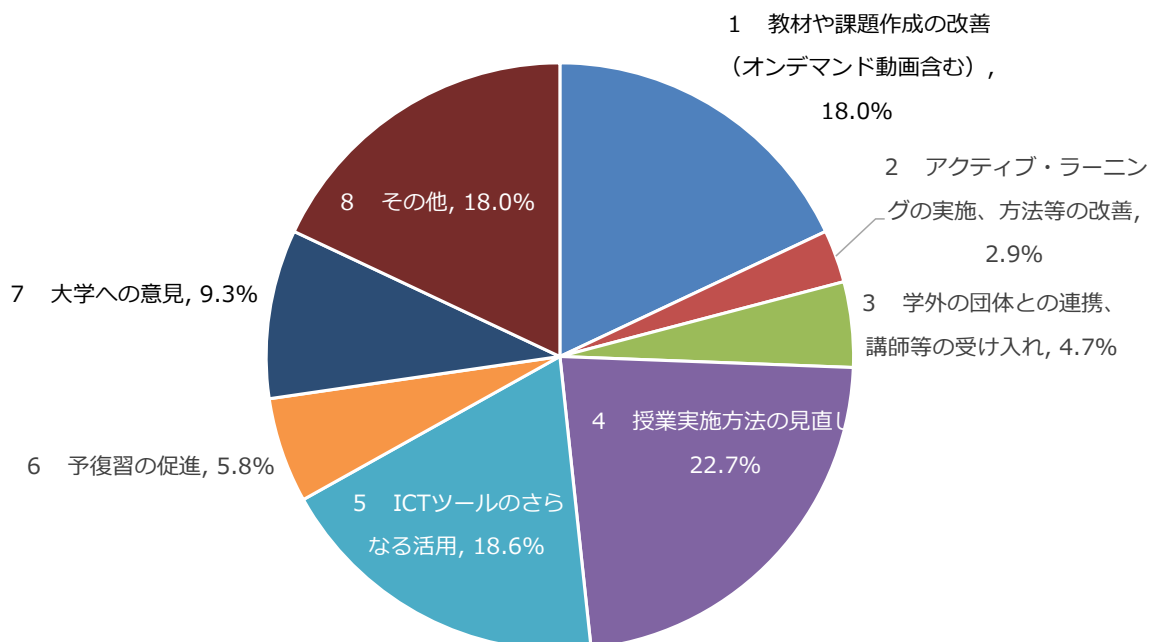
- 延べ278件（1つの記述で複数の分類に及ぶものはそれぞれ分けてカウント）
- 「関大LMS以外の各種ツールの活用」が最も多くなった（19.8%）。



- “Q21 今後の授業において、教育・学習の質を高めるために新たに取組もうとされていることがあればお書きください。（自由記述）。”
- 以下の8つに大分類



- 延べ172件（1つの記述で複数の分類に及ぶものはそれぞれ分けてカウント）
- 「4 授業実施方法の見直し」が最も多くなった（22.7%）。
- 回答者割合（27.6%）に比べ、非常勤講師の回答が多くなった（37.9%）



最後に、今後の教育・学習支援につなげるために、本アンケート（特に最後の自由記述項目）で回答いただいた内容や取組について詳しく伺わせていただける場合は、氏名・メールアドレスをご記入いただくようお願いをいたしました。

合計 **171人** の方にメールアドレスを記載いただきました。

自由記述への記載、今後につなげる内容や取組の共有など、本アンケートへの回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。

教学IRプロジェクト



KANSAI UNIVERSITY

Copyright©2021 Kansai University.All Rights Reserved.